

2024.5.1
あおぞら保育園

新年度スタートから1か月。若葉が芽を吹き、日ごとに緑が濃くなっていくように、子どもたちも日々成長しています。最初は不安そうだった新入園児たちも、お友達と元気に遊べるようになってきました。進級した子どもたちは、お兄さん・お姉さんらしくなり、はりきって年下の子の面倒をみています。疲れや緊張から、発熱を繰り返したり体調を崩すお子さんも増えています。お休みの日は、ゆっくり休養をとるようにしましょう。



4月の感染症

- 溶連菌感染症・・・5名
- インフルエンザB・・・3名
- 新型コロナウイルス・・・2名
- 流行性角結膜炎・・・2名
- アデノウイルス・・・1名
- RSウイルス・・・1名

新年度、環境の変化で下痢・嘔吐や発熱などの症状が増え、疲れが見られています。診断はつかない原因不明の発熱と咳のお子さんが10名程います。特に長引く咳は、RSウイルスが考えられ検査方法は、鼻腔になります。小さなお子さんは、自分で体の不調が訴えられないので大人がよく観察しましょう。食欲がない・機嫌が悪いなどいつもと様子が違う場合は、お知らせください。



5月の保健行事

- 7日(火)～10日(金) 身体測定週
- 9日(木) 春の健康診断 14:30～全園児 (0歳児健診も兼ねています)
- 14日(火) 手洗い指導 3歳児
- 15日(水) 手洗い指導 4歳児
- 17日(金) 手洗い指導 5歳児



歯科検診の結果について

「歯科受診について」と記載があった方は、8/30(金)までに受診をお願いします(かかりつけ医で受診が可能)。受診されましたら下半分を切り取りご提出ください。治療予定の方も次回受診日を記入してご提出ください。当日欠席された方は、5月中に井上歯科医院へ受診をお願い致します。以下は、歯科受診結果の集計です。

	受診者数	虫歯あり(要受診者数)	その他(エナメル質初期う蝕・反対咬合など要受診者数)
ひよこ	6名	0名	0名
べんぎん	14名	0名	1名
うさぎ	17名	0名	2名
こどり	14名	1名	3名
はな	19名	1名	2名
つき	18名	2名	3名

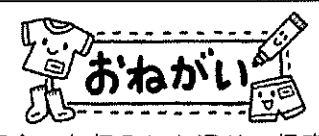
～井上先生から～
一部虫歯のお子さんがいましたので、受診は必ずしましょう。虫歯がなくても定期的に歯科受診してください。指しゃぶりをしている3歳児以降の開咬が増えています。指しゃぶりを続けていると、しゃくが上手くできず、口呼吸になったり、発音がうまくできなくなりますので3歳を過ぎたらやめさせましょう。全体的に虫歯のお子さんが少なく、歯の清掃状態も非常に良いと井上先生からお話がありました。



★初めての身体測定★



4月にスタートしてから初めての身体測定を行いました。特に小さなクラスは、洋服を脱ぐこと、体重計に乗ること、初めてのことが重なったので一人泣くと連鎖となり、涙の大合唱。表情は様々でしたが無事に終了しました。泣いて動いてしまったり、多少の誤差があるかもしれませんが、少しずつ慣れてくれたら嬉しいです。「じょうぶなからだ」に記載しましたのでご覧いただきましたらサインをお願いします。



- 各クラス説明会でお伝えした通り、保育園の洋服はサイズが大きすぎると転倒や怪我に繋がります。お子さんの成長に合わせた丁度良いものを選びましょう。また、スパンコール付きの洋服は糸のほつれにより、誤飲の恐れがありますので控えてください。パーカーやワンピースズポンの裾や袖に飾りがある洋服は、動きを妨げることがあります。年齢に関わらず「動きやすい」「着脱しやすい」「安全」な洋服を選びましょう。素材は、伸縮性、通気性、吸湿性に優れているもの、特に綿素材のものが良いですね。
- 気温差がある5月です。衣服調節ができるよう半袖と長袖の両方の準備をお願いいたします。
- 食品や動物アレルギーをお持ちのお子さんもお知らせいたします。食べながらの登園はご遠慮願います。口周りが汚れていたら拭いてから登園しましょう。

靴の点検を！！

天気の良い日は、毎日お散歩に出かけています。マジックテープが取れやすくなっていると散歩途中で靴が脱げてしまったり、サイズが大きすぎて歩きにくいことがあります。連休中にお子さんの靴を今一度ご確認ください。

0・1・2歳児

● お子さんの正しい靴選び ●

3・4・5歳児

● お子さんの正しい靴選び ●

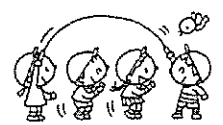
熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。日射病は戸外で強い直射日光にさらされることが原因で熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。熱中症は、夏のイメージですが、5月に発症することが多いので気をつけましょう。



なぜ子どもは熱中症になりやすい？

子どもは体温調節が上手くできず、温度変化の影響を受けやすい。また、衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかかりやすい。車や家の中でも起きます。特に車中は、高温になります。子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。



ことばの相談



2歳ごろから爆発的に語彙数が増え、3歳以降は友達や身近な大人との会話を楽しめるようになりますが、なかには、滑舌や吃音(どもり)などで困っているお子さんも増えています。特に力行やサ行の言いづらさは、子どもたちに見られる間違いです。成長に伴って治ることが多いですが、4歳を過ぎても発音の癖が残ってしまい、正しく発音ができないお子さんもいます。自然に治らない場合を機能性構音障害(発音の癖)と言い、構音訓練(言語聴覚士による発音の指導)が必要になります。練習の時期は、お子さんによって多少変わりますが、一般的には年長さんからが適齢です。
5月は、小児専門の言語聴覚士が来園します。子どもたちと遊びながら、友達とのかかわり方で何か困っていることはないか、ことばや発達、咀嚼などの観察やアドバイスを受けることができます。ご希望の方やご質問は5/9(木)までに看護師へ。

- 例) ・言葉の遅れが気になる。
・耳の間こえが心配。
・「こ、こ、こ・・・これください」など言葉の言い始めまでに時間がかかる。
・力行やサ行が上手く言えない。
力行の例) 「こころ」⇒「ととろ」 「たいこ」⇒「たいと」
サ行の例) 「さくら」⇒「たくら」 「しんかんせん」⇒「ちんかんちえん」
・就学へ向けて、言葉の理解力がどの程度あるのか心配。
・友達とのコミュニケーションが苦手



医療機関へ足を運ぶのは少し悩むけど、保育園にことばの先生がいるなら聞いてみようかな・・・など。専門的なことを保護者へわかりやすく説明していただきますので保護者の方からも好評です。また、「英語を習わせたいけど、何歳ごろから始めたらよいか？」などの日頃の疑問にも気さくにお答えしていただきます。どんな些細なことでも、お子さんのことをご相談がありましたら、連絡ノートや口頭でも構いませんのでお気軽にお声かけください。